

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月10日実施)	総合評価 (3月23日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>○ 新たな教育課程の編成の検討とともに、実施に向けて履修や選択に役立つ教育計画を生徒に示し、学びやすく、個に応じたオープンなカリキュラムを編成する。</p> <p>○ 生徒の成就感や達成感を高める授業に向けて、授業改善を進める。</p>	<p>①新たな教育課程への移行を円滑に進めつつ、生徒の学習ニーズにそった時間割を編成する。</p> <p>②共通教科科目も含め、総合学科としての柔軟な学びのシステムを有効活用した成就感・達成感のある授業を展開する。</p>	<p>①平成30年度に向けて、卒業単位数の増加や再編された系列に対応した科目配置を行う。</p> <p>②履修ハンドブックで示した学習のねらいを達成し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業に取り組む。</p>	<p>①生徒の履修希望を満たした平成30年度の時間割を編成できたか。</p> <p>②生徒による授業評価や生徒学力調査において、肯定的・積極的な数値が上がったか。</p>	<p>①生徒の学習ニーズに応えるため、新たに3つの学校設定科目、1つの専門科目を設置した。定員のある科目を除き、生徒の希望を取り入れた時間割編成ができた。次年度以降の入学生に向けて、効果的で効率的な年間行事・授業配置に検討を加えた。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」につながる取組みを進めるとともに、外部講師を招いての授業研究会を実施した。授業評価では、引き続き肯定的な見方が多数を占めている。</p>	<p>①16期生より実施している新たな教育課程の運用上の課題をどう整理していくか。「高大接続改革(共通テスト、学びの基礎診断)」、次期学習集指要を踏まえた学校づくり、教育課程編成をどう進めるか。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、相互授業見学、研究授業等を日常的に取り組み。教材の共有化、定期試験の共通化、評価方法の改善等を通して、学びの質的な保証を目指す。</p>	<p>①生徒の学習ニーズを細かく捉えながら教育課程を編成するのは良いのですが、教員の負担増が気になります。ワークライフバランスの検討も同時に行われなければいけないと感じます。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」は、生徒さんの発表の様子を見ても達成されていると感じます。金沢総合の一番の特色だと思います。</p> <p>②学習指導要領の改編期を迎える中、生徒アンケートに見る学校生活・キャリア教育の充実感が高く、成果は良好である。</p>	<p>①「県立高校改革(1期)」に基づき、総合学科としての新たな教育課程を編成した。基礎・基本の充実を図るため学校必修科目を増やすとともに、卒業単位数を74から80単位とした。</p> <p>②「学校外における学習」を積極的に呼びかけ多くの生徒の参加が見られたが、指導上の課題も浮き彫りとなった。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」に向けての共通理解は深まりつつあるが、教科での取組みには課題が残った。</p>	<p>①次期学習指導要領に向け、共通と選択のバランスを考慮しつつ、社会の変化、生徒の学習ニーズを踏まえた教育課程編成の準備を進める。</p> <p>②「夏の学び」については、応募から単位認定までの手続きを再整理するとともに、職員全体で指導にあたる態勢を確立する。</p> <p>②相互授業見学、研究授業等を日常的に取り組む。教材の共有化、定期試験の共通化、評価方法の改善等を通して、学びの質的な保証を目指す。</p>
2 生徒指導・支援	<p>○ 生徒の「生きる力」の育成を図るために、生徒の自主性を重んじ、責任ある行動の自覚を促す。生徒の挑戦や、やり直し、自分探しを支援する。</p>	<p>①問題行動の未然防止と充実した教育相談のさらなる継続を図る。</p> <p>②生徒の主体性とリーダー性を育てる。</p>	<p>①問題行動の未然防止と生徒に寄り添った生徒指導を職員のコセンサスのもと行う。</p> <p>②学校行事、生徒会行事、部活動において、生徒の主体性の育成とリーダーシップを育てる。</p>	<p>①問題行動を未然に防止することができたか。また、適切な教育相談が行うことができたか。</p> <p>②生徒の主体的な活動が増えたか。また、生徒のリーダー性を発揮する場面を増やせたか。</p>	<p>①規範意識の醸成を目指して、あいさつ運動、服装・頭髪指導、登下校指導等に学校全体で取り組んだ。スクールカウンセラーと連携し、日常的な教育相談活動を行った。</p> <p>②生徒が充実感や達成感を持てるよう、生徒主体の活力ある学校行事、部活動を目指し、そのリーダーシップ発揮を支援した。</p>	<p>①規範意識の醸成をキャリア教育の一環として位置づけ、引き続き学校全体で取り組んでいく。スクールカウンセラーとの連携を引き続き進める。</p> <p>②文化祭の企画・運営について、生徒がさらに主体的な活動ができるよう、支援を行う。部活動の加入率の向上と計画的な活動に向けて、検討する。</p>	<p>①あいさつ運動は学校全体に浸透していて、これからも引き続き取り組んで欲しいと思います。</p> <p>①生徒の規範意識向上の成果は地域としても強く感じている。特に頭髪服装の状況、自転車での通学状況が良好で、出合際のあいさつも身について、気持ち良い。</p> <p>②改善策に部活動の加入率の向上が掲げられているが、数値目標も必要ではないか。</p>	<p>①キャリア諸能力を育成するという観点から、あいさつ運動に取り組むとともに、制服・頭髪指導の強化を図った。</p> <p>①日常的なあいさつは学校文化として定着し、コミュニケーション能力の向上にも寄与している。</p> <p>②部活動への参加を促すため、見学・体験の取組みを強化した。</p>	<p>①規範意識の向上を目指して、引き続きあいさつ運動、服装・頭髪指導に取り組む。</p> <p>②引き続きスクールカウンセラー、外部機関等との連携を通して、生徒指導・生徒相談の充実に取り組む。</p> <p>②部活動への積極的加入については、生徒を取り巻く現状を把握しつつ、より具体的な方策を考えていく必要がある。</p>

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月10日実施)	総合評価(3月23日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>○ 課題解決力を育てる授業、コミュニケーション能力を育てる授業を展開する。</p> <p>○ ガイダンスや多様な授業、柔軟な学びを活用し、生徒が目指す進路実現を支援する。</p>	<p>①3年間の教育活動を通して、将来の職業選択を見据えた進路意識を育てる。</p> <p>②一人ひとりの生徒に丁寧に寄り添い、その進路実現を果たす。</p>	<p>①ガイダンスIでは、新たな年間指導計画のもと、生徒が自らの将来を考えるより一層の取組を行う。ガイダンスII、IIIでは、その取組の深化・充実を図る。</p> <p>②進路実現に向けて、全教員がその支援に関わり、その達成を図る。</p>	<p>①新たな取組が効果を上げることができたか。また、ガイダンス発表会での内容の充実が図られたか。</p> <p>②3年次生の進路実現に向けた支援が全校態勢でできたか。また、進路決定者の割合を増やすことができたか。</p>	<p>①ガイダンスIでは、新たな取り組みとして、カタリバやRebitとのワークショップを実施した。ガイダンスII、IIIにおいても、生徒への積極的な支援を行った。</p> <p>②3年次生の進路実現に向け、自己推薦書作成、プレゼンテーション・面接指導等、全校的な支援態勢づくりに努めた。9割をこえる生徒の進路決定を実現している。</p>	<p>①共通理解を持って取組を推進するため、中長期的な視点に立ったガイダンスの構築が必要である。</p> <p>②3年次生に対するきめ細かな進路支援を学校全体で引き続き行っていく。生徒一人ひとりの進路実現に向け、ガイダンスIIIとの連携を強化していく。</p>	<p>①生徒一人ひとりによりそって進路指導・支援を行っていると思います。</p> <p>②評議員会での代表生徒によるプレゼンテーション、グループ討議で高校生への声を聞くことができ、進路学習の方向性がよくわかった。</p> <p>②入試制度の変更が予定されているので、特に一般入試にチャレンジする生徒のフォローをお願いしたい。</p>	<p>①ガイダンスI・II・IIIに日常的な改善を加えた。とりわけ、1年次ではカタリバ、Rebitとのワークショップを実施することで、自己理解・他者理解を促すとともに、将来設計に向けた力の育成を図った。</p> <p>②3年次生の進路実現に向けて、組織的な取組を進めた。一方で、一般受験を希望する生徒への支援については、課題を残した。</p>	<p>①引き続き3年間を見通したガイダンスの取組を進めるとともに、育成したい力を明確にした評価の改善に努めたい。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路実現に向けた組織的な取組を引き続き実施する。</p> <p>②進路指導の実務を確実に継承する仕組みを構築するとともに、事故防止の徹底を図る。</p>
4 地域等との協働	<p>○ 地域や保護者との連携をさらに進め、本校の教育活動を積極的に発信し、広報活動を推進する。</p> <p>○ 生徒の防災意識を高め、津波対策にも取り組む。</p>	<p>①地域の教育力の活用を維持・発展させる。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、地域との防災における連携を進める。</p>	<p>①地域連携や高大連携、高専連携等を進め、より開かれた教育活動を展開するとともに、特色ある教育活動を発信し続ける体制を構築する。</p> <p>②生徒の主体的な防災意識を高める取組を進めるとともに、地域との防災における連携を具体化していく。</p>	<p>①上級学校、事業所・施設、地域等との連携を進展・継承することができたか。また、効果的な広報活動ができたか。</p> <p>②生徒によるDIG研修を実施し、防災に関する意識を高めることができたか。また、地域との連携に進展があったか。</p>	<p>①教科・系列、ガイダンス、夏の学び等を通して、連携を深めることができた。学校説明会等には、のべ1970名の参加があった。学校HPを活用した広報活動を積極的に行った。</p> <p>②避難訓練、DIG研修を通して、生徒の防災意識を高めることができた。地域の防災会議に参加した。</p>	<p>①引き続き上級学校、事業所・施設、地域等との連携を深める。説明会情報、授業内容、部活動等、学校HPを通じた広報活動の充実にも努める。グループ員だけでなく、全職員による説明会等の運営に向けて検討を加える。</p> <p>②DIGの取組の拡大を図る。引き続き防災会議等に参加し、地域との連携を深める。</p>	<p>①学校のHPは見やすいです。また、情報発信の面も工夫されています。</p> <p>①吹奏楽部、ダンス部を中心に地域のフェスタ等に参加発表いただき、地域住民の楽しみになっています。元気な若い人との触れ合いは心に残ります。</p> <p>②1年次生の災害図上訓練(DIG)の正門掲示を見て、実践に心強く思います。</p>	<p>①様々な教育活動の場において、上級学校、事業所・施設、地域等との連携をさらに深めることができた。</p> <p>①説明会、HP等を通して、積極的な広報活動に取り組んだが、課題も明らかになった。</p> <p>②避難訓練、DIG研修を通して、生徒の防災意識を高めることができた。地域の防災会議に参加した。</p>	<p>①引き続き上級学校、事業所・施設、地域等との教育連携を強化していく。</p> <p>①今後の学校づくりとも連動させながら、観点を明確にした広報活動が必要である。</p> <p>②生徒の防災意識を高める取組を引き続き行っていく。地域との連携については、その具体的な方策を検討していく。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>○ グループ業務等の見直しなど、学校運営組織の再編に取り組む。</p> <p>○ 職員の事故不祥事の未然防止に努める。</p>	<p>①業務の効率化を進める。</p> <p>②事故・不祥事を出さない。</p>	<p>①グループ業務の見直しを踏まえ、その成果を検証するとともに、業務アシスタントの導入の効果を上げ、業務の効率化を図る。</p> <p>②事故・不祥事の防止に向けて、不断の啓発や環境整備を進め、併せて適正な会計執行を継続する。</p>	<p>①業務の効率化が進んだと職員が思えるか。</p> <p>②事故・不祥事の未然防止ができたか。</p>	<p>①グループ業務に日常的な改善を加えるとともに、業務アシスタントを活用した効率的な学校経営を行った。</p> <p>②不祥事ゼロプログラムに基づく取組を進め、事故不祥事の未然防止に努めた。私費会計については、1月に学校独自の会計チェックを行い、適正執行に努めた。</p>	<p>①年間行事計画の見直しと連動させながら、より一層の業務の精選、効率化を進める。引き続き業務アシスタントの積極的な活用を図る。</p> <p>②今後も事故防止会議を計画的に開催し、不祥事ゼロに向けた取組を継続的に実施する。</p>	<p>①業務アシスタントが機能しているようであり、教員負担の軽減に寄与していくことを期待する。</p> <p>②教員の心のケアも大切ではないか。外部の専門家と連携して業務の効率化が急務だと感じた。</p> <p>②事故防止策は常にダブルでのチェック体制が望まれる。</p>	<p>①業務アシスタントの導入により、業務の効率化が進んだ。</p> <p>②授業配置及び成績処理日程等の適正化、効率化を目指して、夏季休業前後の行事配置に改善を加えた。</p> <p>③事故防止会議、朝打合せ等を通して、日常的な事故不祥事の未然防止に取り組んだ。</p>	<p>①次年度に向けて、業務アシスタントが担う業務の再整理を行うとともに、学校運営組織の日常的な見直しを行っていく。</p> <p>①年間行事予定については、31年度前倒しも含めて、関連部署で詳細を詰めていく。</p> <p>②個人情報収集については、その適正な運用を図っていく。</p>

